



書名：最終処分技術

著者：樋口壯太郎(福岡大学大学院教授)



一書評一

我が国は世界に先駆け、焼却等中間処理を取り入れ、残渣を埋立処分することを廃棄物管理の基本としてきた。このため我が国の最終処分場は焼却残渣や不燃破碎残渣等、無機物中心の埋立地となっており、国際的にも特異な最終処分場である。しかし、一方では高塩類問題をはじめとして、様々な課題も有している。このような中で著者は我が国の最終処分技術の変遷を整理したうえで、我が国の最終処分場が抱える様々な課題を整理し、これらの課題に対して、長年にわたる実証研究とフィールド応用により、その対策技術を開発、提案してきた。本書はこれらを判りやすくまとめた本である。特筆すべき点は、埋立ごみ質の概念を強調していることと、最終処分の立場から上流側プロセスの焼却排ガス処理や飛灰安定化技

術に対する改善提案を行い、中間処理から最終処分まで統合管理する必要性を提案していることである。これは、これからの我が国の廃棄物管理を考える上で大いに評価できる提案である。さらに国際的にもこれから焼却等中間処理に移行する国にとって、全量埋立から中間処理導入プロセス、中間処理導入後についての埋立管理上の留意点についても触れられており、途上国にとっても道標となる書である。本書は最終処分場に関わる技術者のみならず、焼却をはじめとする中間処理に関わる全ての技術者、研究者、学生にとっても必携の書である。

福岡大学名誉教授 花嶋 正孝

購入は下記メールかファックスで

〒130-0022 東京都墨田区江東橋4-29-13 第2鈴勘ビル504号
特定非営利活動法人環境技術支援ネットワーク(NPO法人TS-net)
FAX : 03-6659-2436 E-mail : info@ts-net.or.jp